

令和6年度博物館事業の実施状況の関係資料

- 1 企画展開催結果等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～6 ページ
- 2 常設展開催状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3 博物館入館者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 4 インターネット関連広報・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9～10
- 5 調査研究成果等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 6 鳥取県ミュージアム・ネットワーク関連・・・・・・・・・・ 12
- 7 資料収集状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

企画展「アートって、なに?～ミュージアムで過ごす、みる・しる・あそぶの夏やすみ」の 開催結果について

令和6年12月20日
博 物 館

展覧会名	「アートって、なに?～ミュージアムで過ごす、みる・しる・あそぶの夏やすみ」
会 期	令和6年6月29日(土)～8月25日(日) [55日間/7月29日は休館]
会 場	鳥取県立博物館2階 第1・第2・第3展示室

1 事業概要

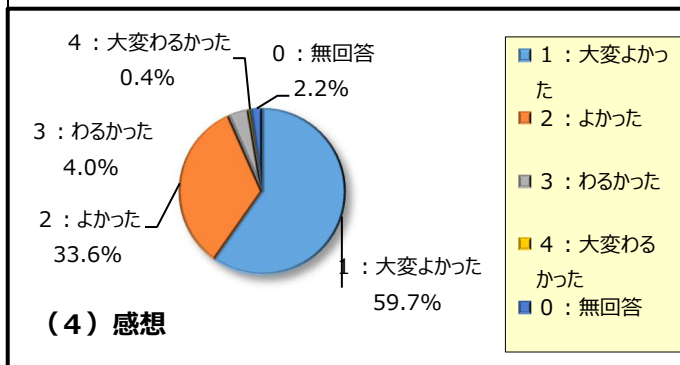
本展覧会では、当館の所蔵作品に加え、国内外で活躍する注目のアーティストによる作品を通じて、多様な切り口でアートを紹介した。これまで美術に馴染みのなかった方々や家族連れでも気軽に訪れて会場をめぐり、見たり知ったり遊びながら、アートそしてミュージアムという場所のおもしろさを体感してもらう機会とした。

2. 開催結果

(1)企画展入場者数 6,496人(目標 10,000人)

(2)関連行事参加者数

関連行事内容	参加人数
出品作家によるアーティスト・トーク (6/29、7/28、8/10、8/17)	72人
出品作家によるワークショップ(7/14、7/27、8/4、8/10、8/11)	153人



(3)結果・反響(来館者アンケート回答数:226人)

①展覧会満足度

「大変よかった」「よかった」とする意見が全体の93.3%を占めた。

②感想(主要なもの)

作品を見たり、触れたり、キャプションを読んだりする中で、印象が変わったり、初めて知る事や面白い着眼点に触れられて楽しかった。／見るだけでなく、体験することもでき、芸術に対して

新しい感覚が芽生えたように思います。アートってすごく難しいように思っていたのですが、自分の感覚、目線で鑑賞してもいいものかもしれないと思えました。／様々なアートのカタチがこの会場で学べたのがとても楽しく思いました。アーティストの方々がもつ視点がこの世界をどう捉えているのかということがとても面白く感じました。／体験できるところと説明がわかりやすくだれでもアートに気軽に触れあえるところ。／今までこういう所はあまり行ったことがなく、行きにくい印象だったけど、今回でより身近に感じる事ができた。／展覧会の説明が(タイトルも)分かりやすく、かつ、考えさせられるものだった。／体験型で、説明も丁寧で面白かった。／もっと触れる作品がほしい。面白いアートが多かった。家族で楽しめる企画なのが良かった。／展示内容、表示方法、鑑賞方法など、大変バラエティに富んでおり、良かった。／夏休みの企画にしては子どもたちが楽しめるような内容ではなかった。制限がありすぎて大変だった。

③そのほか

参加型の作品を多く展示したことが、子ども連れのみならず大人に至るまで好評を得た。また今回、「アートって、なに?」というテーマに根差す作品解説を各ジャンルの担当学芸員が作成して掲示した点が概ね評価されたことを受け、今後も展覧会ごとに新しい切り口で作品を紹介する仕組みを取り入れていきたい。

4. まとめ

例年夏休み期間は自然分野が企画展を開催していたが、今年は美術部門が美術館へ移転する前の節目の年ということで、美術部門が企画展を実施した。集客の点では家族連れ層へのアプローチが必須であり、参加型の作品を多く展示したり、会期中に出品作家によるワークショップやトークを積極的に開催したものの、残念ながら来場者数目標には届かなかった。一方で、MUSEUM START BUS(美術館体験プログラムへのバス招待事業)では10校の来館があったほか、夏休み期間中ということで公民館や児童クラブ等、20団体が来館し、多くの児童・学生に展覧会を見てもらう機会を作ることが出来た。



出品作家（飯川雄大氏）によるギャラリートークの様子



MUSEUM START BUS で来館した小学生との鑑賞体験の様子



出品作家（眞島竜男氏）によるワークショップの様子
(撮影：田中良子)



出品作家（中ハシクシゲ氏）によるワークショップの様子
(撮影：田中良子)



出品作家（木村崇人氏）によるワークショップの様子
(撮影：田中良子)



参加型作品（藤本由紀夫《Ears with Chair (Tottori)》）の展示風景
(撮影：田中良子)

企画展「ネコ ～にゃんと！ クールなハンターたち～」の開催結果について

展覧会名	企画展「ネコ ～にゃんと！ クールなハンターたち～」
会 期	令和6年10月5日（土）～11月10日（日）〔休館日3日を含む37日間〕
会 場	鳥取県立博物館 2階 第1・第2特別展示室
主 催	ネコ展実行委員会（鳥取県立博物館・日本海テレビジョン放送株式会社）・読売新聞社

1 事業概要

人類にとって最もなじみの深い動物であるイエネコをはじめ、ライオンやトラなどのネコ科動物について、完全な肉食に特化したハンターである点などその特徴や魅力を生物学的な見地から紹介した。また、絶滅の危機に瀕している野生ネコ科の現状や野外でくらすイエネコがもたらす問題等を通して、これらのネコ科動物たちと人類が共存できる社会について考えるきっかけを提供した。

2 開催結果

(1) 企画展入場者数 23,134人（目標 8,000人） ※入場者数歴代10位

一般から募集したネコ写真をポスターや看板、会場内展示に採用したこと、ホール看板での「大喜利」、ハロウィーン限定コスプレイベントといった関連企画により、自然史や博物学に興味がなかった人達からも広く関心を集めることができたと考えられる。本企画展の成果と課題として次の点があげられる。

- 来館者アンケート（429件、回答率2%）では、大変よかった・よかったと回答された方が98.2%（大変よかった69.5%・よかった28.7%）であり、来館者の満足度は極めて高かった。
- 上記の通りネコ写真を一般から募集したところ、非常に魅力的かつ人目を惹くネコ写真をポスターデザインに採用でき、大きな広報効果が得られたようであった。紙の前売り券は「完売」となった。
- 本企画展は名古屋、大阪から続く巡回展であり展示物や解説パネルの大部分は共通したものであったが、この鳥取会場において展示構成を大きく変えた。具体的には導入でイエネコの特徴や魅力を取りあげ、そこからネコ科動物のハンターとしての特徴につなげる、という流れとした。これにより上記の「自然史に興味なかった人」も展示内容に入りやすくなり、より幅広い層に学びの機会を提供できたものと思われる。
- オリジナルキャラクターを起用した一言パネル（キャラクターは巡回展共通だがセリフ等は鳥取会場オリジナル）を各所に配置し、解説の補助や楽しみながら展示を観覧できるような配慮を施した。
- 難易度を3段階に設定したクイズラリー（鳥取会場オリジナル）を設置し、より積極的・能動的に展示標本を見てもらう仕掛けを施した。大変好評で低年齢層を中心に楽しんでいただけたようであった。
- 体験型展示として野生ネコの実物毛皮タッチング標本、イリオモテヤマネコの尿のにおい体験装置、イエネコの毛色の遺伝を体感できるパズル（巡回展共通）といったものを設置し、大変好評であった。
- 展示の最後に野外でくらすイエネコにまつわる諸問題について触れ、その対応策の一つとして倉吉市にある動物臨床医学研究所附属施設「アミティエ」の取り組みを紹介した（鳥取会場オリジナル）。
- キャプションの文字が小さい、解説文にふりがなが欲しい、といった声があった。巡回展であったため対応が難しい点であるが、今後、巡回展の企画段階から携わる機会があれば、十分に配慮したい。

(2) 関連行事参加者数

- ・特別企画「ネコ科の魅力」写真コンテスト（募集期間：4/25～6/3）応募件数：223件、応募作品数：361点
- ・特別企画「ネコ展」展示用写真募集（募集期間：6/4～11/9）応募件数：608件、応募作品数：829点
- ・特別企画「ネコ展大喜利ぐらんぷり」（募集期間：9/15～10/21）応募作品数：128点
- ・中西希氏（北九州市立自然史・歴史博物館学芸員）による特別展示解説（10/5）計60人
- ・ハロウィーン限定企画「ネコになる日。」（10/26, 27）計616人

(3) 主な反響（入場者アンケートから）

- ・初めポスターを見た時、ネコの可愛さに重点を置いた展示かと思いましたが、実際の展示を見るとネコ科の生態や他種との違い、ネコ科内での相違点など学術的な説明も多くとても勉強になりました。
- ・ネコ科の歴史や生態を良く知らなかったので面白かった。所々にあるイラストのパネルがかわいくて面白いセリフもあったので良かった。
- ・はく製、迫力があって良かったです。本では分かりにくいサイズ感も複数種並べることで理解しやすかったです。
- ・北九州で見たのが面白かったので、その後名古屋・大阪でも観ました。こちらの会場が一番ゆったりと落ち着いて見ることができて、他会場ではきちんと見られなかった部分も見ることができてとても良かったです。イエネコが導入になっていて、ネコ科全体の事がまんべんなく分かりました。身近なイエネコがフックになって、動物園で見るとは野生ネコ科と比べながら見る事ができたのでとても興味深く楽しめました。ありがとうございました。
- ・イエネコだけでなくネコ科の様々な動物、生態系にも触れられていて、生物学的なアプローチ以外にもネコのミイラや日本画など文化的・宗教的な面にもスポットライトが当たり楽しかった。イエネコ（野良ネコ）の生態系への影響やそれを減らしていこうというメッセージも伝えてくれていてとても良かった。
- ・写真で大喜利など、一般の人が参加できるのが良かった。
- ・個人的には動物全般大好きなので今回のような企画展は本当に楽しく、初めて前売券を購入しました。数年前のクジラ・イルカ類に特化したり、鳥類と恐竜がメインの企画展も大変楽しみました。これからも年に1度くらい、動物に関する企画展があればとても嬉しく思います。
- ・もう少し体験できる展示があると、もっと良かったと思う。
- ・駐車場が少ない。満車の時は別駐車場を案内して欲しい、または分かりやすく表示して欲しい。

令和6年度企画展
「幕末土佐の天才絵師 絵金」開催要項

1 会期

令和6年11月30日（土）～令和7年1月13日（月・祝）（34日間）
休館日（月曜日、12/29～1/3）

2 会場

鳥取県立博物館 第1・第2展示室

3 趣旨

謎の天才絵師とも呼ばれる土佐の絵師・金蔵は、幕末から明治初期にかけて数多くの芝居絵屏風などを残し、「絵金さん」の愛称で、地元高知で長年親しまれてきました。同時代のどの絵師とも異なる画風で描かれた屏風絵は、今も変わらず夏祭りの数日間、高知各所の神社等で飾られ、闇の中に蝋燭の灯りで浮かび上がるおどろおどろしい芝居の場面は、見るものに鮮烈な印象を残しています。本展は、九州・中国地方エリアで開催する初の大規模展です。幕末の土佐に生き、異彩を放つ屏風絵・絵馬提灯などを残した「絵金」の類稀なる個性と、その魅力について、代表作の数々で紹介します。

4 展示構成（案）

第1章 絵金の芝居絵屏風

地元で長く守り続けられ、夏祭りの期間のみ、一部が公開されてきた芝居絵屏風。本展では、そのおどろおどろしく、圧倒的な迫力を持つ極彩色の屏風絵を一堂にご覧いただきます。

第2章 絵金と周辺の絵師たち

圧倒的な迫力を持つ極彩色の芝居絵屏風以外にも、絵金は白描画、絵馬提灯、横幟などの作品も多数残しています。ユーモアにあふれる作品も多く、おどろおどろしさとは異なる絵金の魅力も紹介します。

第3章 高知の夏祭り

絵金の屏風絵は、闇の中にあってこそ、独特の存在感と異様な雰囲気醸し出します。展覧会の会場でも、絵馬台の復元、照明などの演出によって地元で公開されている雰囲気を大胆に再現し、恐ろしくて美しい、その迫力と美を間近で楽しんでいただきます。

5 観覧料

一般800円（前売・20名様以上の団体）

※70歳以上の方、大学生以下の方、学校教育活動での引率者、障がいのある方、難病患者の方、要介護者等及びその介護者は無料（要証明）

6 関連事業

(1) 美剣士・平井権八と鳥取県の伝統芸能Ⅰ「因幡の傘踊り演舞」

令和6年11月30日（土） 午前10時～午前10時30分

会場：県立博物館エントランス階段

出演：国府町因幡の傘踊り保存会 美敷支部

(2) 特別講演会 土佐の夏祭りを彩る「絵金」

令和6年11月30日(土) 午前11時～正午

会場：県立博物館講堂

講師：横田恵氏(創造広場「アクトランド」学芸員)

(3) 美剣士・平井権八と鳥取県の伝統芸能Ⅱ「円通寺人形芝居伝承見学ツアー」

令和7年1月11日(土) 午後1時～午後2時30分

会場：円通寺人形芝居伝承館(鳥取市円通寺) (現地集合・現地解散)

講師：西村一重氏(円通寺人形芝居保存会 会長)

※12月19日(木)から電話(0857-26-8044)にて申込受付

定員：20名程度

【参考写真】



第3章 高知の夏祭りの展示風景

令和6年度 常設展の展示概要

自然展示室

■「自然の窓」コーナー

令和6年4月30日～8月8日	美しい 鳥の羽標本	一澤主幹学芸員
令和6年8月9日～（展示中）	なんだかすごいぞ 石灰岩！	田邊主任学芸員

■「身近な植物」コーナー

令和6年3月26日～7月4日	飢餓から人々を救った有毒植物	清末学芸員
令和6年7月5日～10月6日	クワガタソウの仲間	
令和6年10月8日～（展示中）	ネコネコ植物園 -ネコにまつわる植物-	

歴史・民俗展示室

■「歴史の窓」

令和6年6月25日～8月25日	対外戦争の現実 —文禄・慶長の役の闇—	山本学芸員
令和6年8月27日～10月27日	鳥取の古代寺院（I）—菖蒲廃寺—	小山主任学芸員
令和6年10月29日～12月8日	企画展「幕末土佐の天才絵師 絵金」 展関連企画「美剣士・平井権八と鈴ヶ森」（前期）	来見田主任学芸員
令和6年12月10日～令和7年1月19日	同上（後期）	来見田主任学芸員

1階美術展示室

※臨時収蔵庫として利用するために当面休室

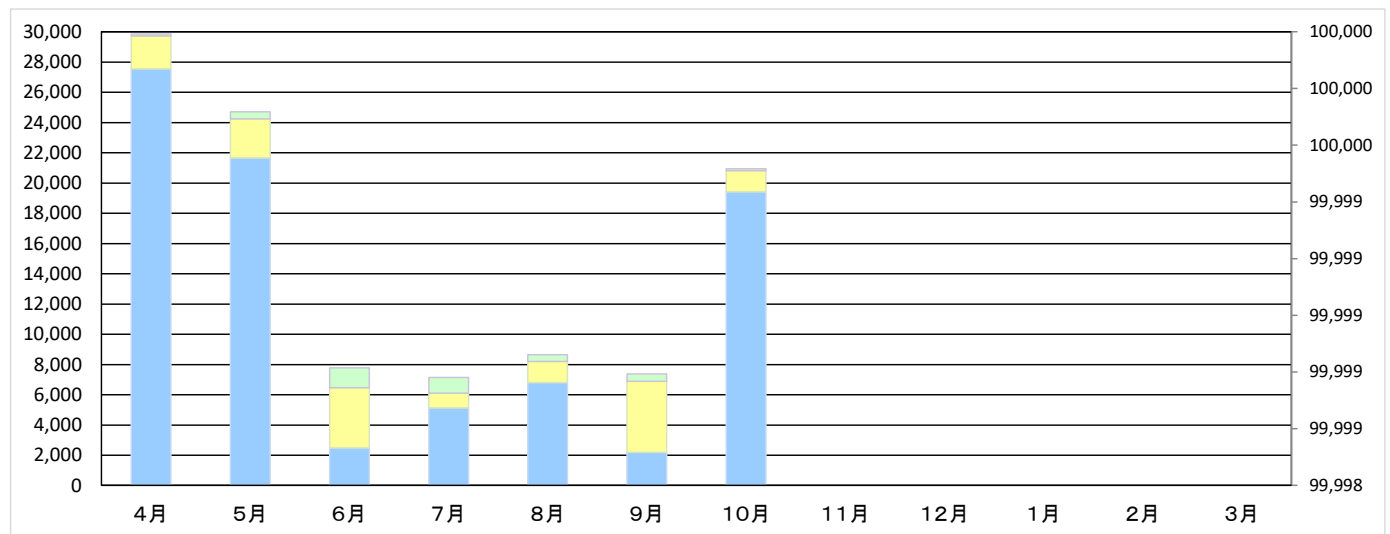
第3特別展示室（2階近代美術展示室）

※企画展会場、および美術館への資料移転作業会場として使用するため美術常設展示なし

令和6年度 博物館利用者の状況

【鳥取県立博物館利用者数】

<令和6年10月30日現在>



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考 R5同期
来館者	常設展(A)	3,870	3,875	1,946	1,997	3,044	2,120	3,651					20,503	19,877
	企画展(B)	23,301	17,670	283	2,776	3,437	0	15,098					62,565	26,046
	普及活動(館内)(C)	361	110	242	348	310	72	663					2,106	1,763
	研究相談(D)	7	15	8	8	12	7	6					63	100
	小計	27,539	21,670	2,479	5,129	6,803	2,199	19,418					85,237	47,786
	県展・ジュニア県展(E)	0	0	0	0	0	3,682	0					3,682	3,485
	貸館利用者数(F)	0	980	3,207	317	362	37	57					4,960	5,750
	ミューゼ利用者数(I)	2,188	1,605	784	664	1,033	972	1,342					8,588	8,357
	小計	2,188	2,585	3,991	981	1,395	4,691	1,399					17,230	17,592
	総来館者数	29,727	24,255	6,470	6,110	8,198	6,890	20,817						102,467
普及活動(館外計)	134	454	1,304	1,029	450	494	118						3,983	2,734
博物館利用者総計	29,861	24,709	7,774	7,139	8,648	7,384	20,935						106,450	68,112

<企画展別入館者数>

令和5年度	
企画展名	入館者数(人)
ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展	23,731
勾玉の世界	3,840
ミュージアムとの創造的対話04	2,742
生誕二〇〇年 根本幽峨	3,222
計	33,535

令和6年度	
企画展名	入館者数(人)
古代エジプト美術館展	40,971
アートって、なに？	6,496
ネコ ～にゃんと！クールなハンターたち～	23,134
幕末土佐の天才絵師 絵金 (11月開幕)	
計	70,601

*ネコ展は11月の入館者数も含む

<主な貸館による入館者数>

令和5年度	
企画展名	入館者数(人)
第62回麒麟のまち鳥取市美術展	2,066
第50回記念山陰書人社展・言水抱泉書展	1,623
第67回鳥取県美術展覧会	3,485
「愛しいキルト」Vol. 2	508
第21回鳥取県ジュニア美術展覧会	1,995
あいサポート アートととり展	690
第47回鳥取書道連盟展	698
計	11,065

令和6年度	
企画展名	入館者数(人)
第51回山陰書人社展	709
第63回麒麟のまち鳥取市美術展	1,897
日本伝統工芸中国展	1,141
第68回県展	3,682
計	7,429

鳥取県立博物館におけるインターネット関連広報について

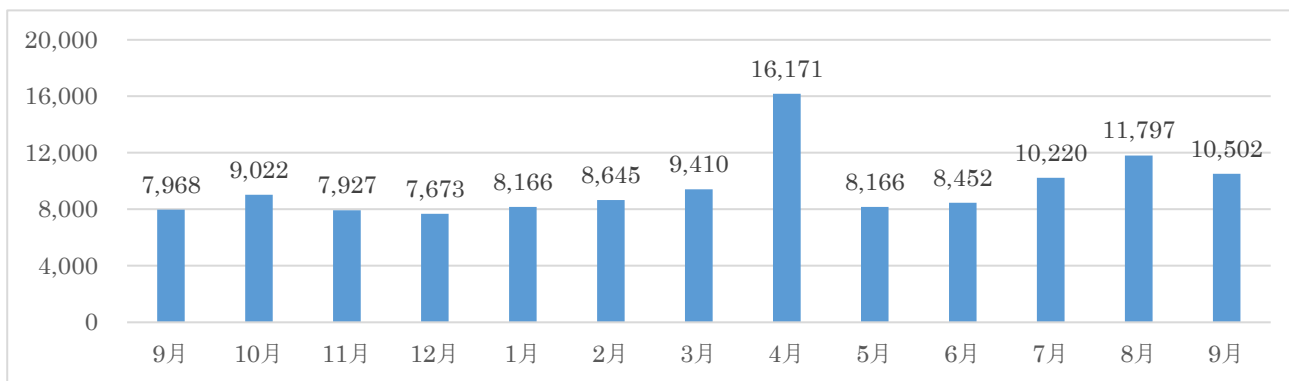
1. とりネット（ホームページ）による広報

企画展の情報を適宜更新する他、常設展示の内容などをまとめている。収蔵資料データベースは、令和3年3月1日から、県立4館合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」にデータを移管して公開している。

《鳥取県立博物館ホームページのアクセス数の推移》

R5年9月～R6年9月

※博物館トップページのアクセス数のみ。Facebook から直接、企画展等のリンクに飛んだ場合はカウントされていない。

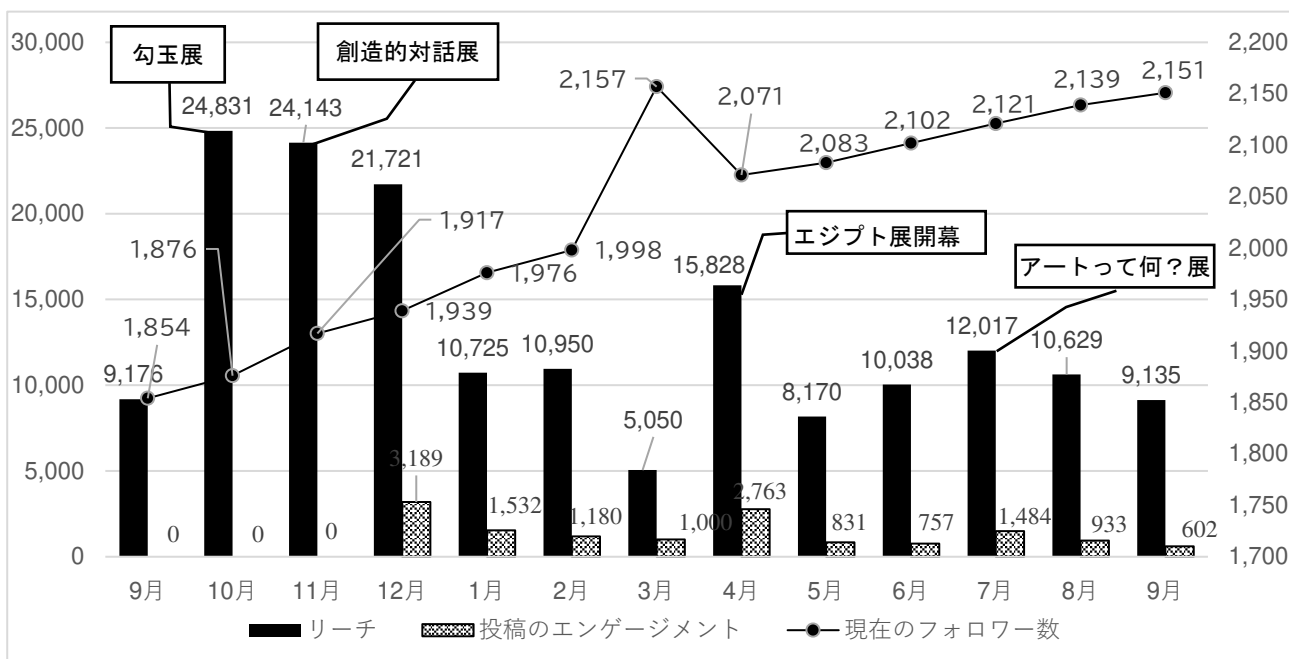


2. SNS（Facebook）による広報

平成28年9月より鳥取県立博物館のFacebookの運用を開始。投稿内容は、企画展情報や普及講座の参加募集・実施状況の他、マスコミへ資料提供など、博物館利用者へ情報を拡散したいものとしている。また、令和2年5月8日より美術部門学芸チームがInstagramの運用を、令和3年12月からTwitterの運用を開始した。

《鳥取県立博物館 Facebook ページのアクセス数の推移》

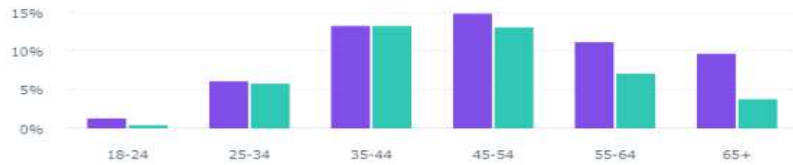
（リーチが多かった記事）



■ 投稿のエンゲージメント（投稿に「いいね」や「シェア」などした人）（世代ごとの割合）

年齢と性別

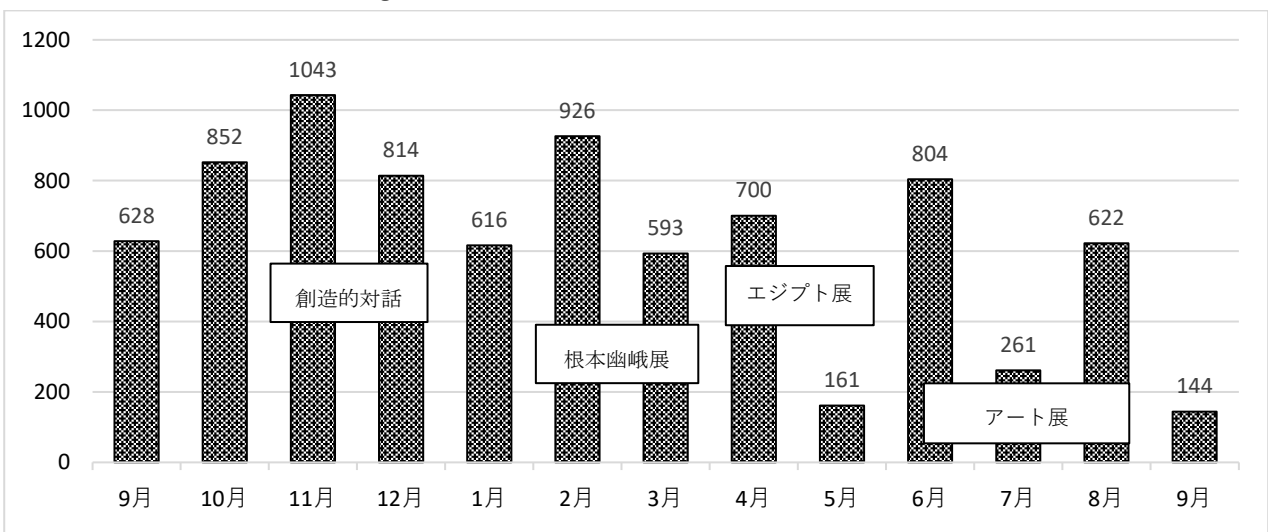
男性 56.40%
女性 43.60%



2-2. SNS (Instagram) による広報

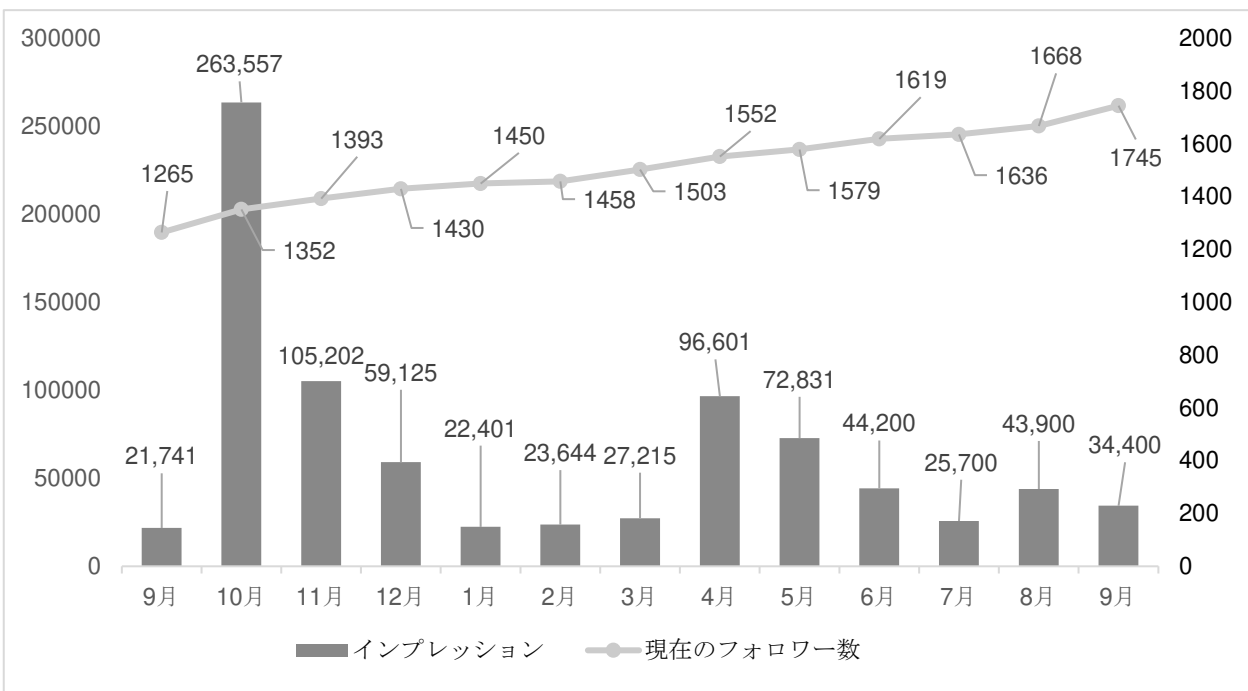
フォロワー数 1348 (令和6年11月1日時点)

《美術部門学芸チーム Instagram ページのアクセス数の推移》



2-3. SNS (Twitter) による広報

フォロワー数 1827 (令和6年11月1日時点)



令和6年度以降の調査研究取組内容（美術）

令和6年度調査研究実績

- ・鳥取県ゆかり及び国内外の優れた美術等に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究
令和6年度企画展（「アートって、なに？展」）等に関する調査研究

令和6年度以降の調査研究取組内容

近世美術分野

- ・「鳥取県にゆかりのある近世以前の作家の展開に関する調査研究」
随時 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会
- ・「杉浦（土方）家伝来資料に関する調査研究および目録化」
令和7年度まで 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会

近代美術分野

- ・「鳥取県ゆかりの洋画家における西洋美術受容の実践に関する調査研究」
随時 担当：友岡 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、セミナー、展覧会
- ・「鳥取における美術・文芸の同人に関する研究：収蔵資料を含む現存資料の調査および目録化」
令和6年度まで 担当：友岡 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表
- ・「鳥取県にゆかりのある近代日本画家に関する調査研究」
随時 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会

現代美術分野

- ・「福嶋敬恭の作品の展開に関する調査研究」
令和6年度まで 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、展覧会
- ・「鳥取県ゆかりの現代美術作家に関する調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：展覧会
- ・「現代美術作品による制度批評および社会に介入する芸術についての調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、企画展
- ・「地域型アートプロジェクトにおける批評とキュレーションに関する調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：小泉元宏(立教大学) 成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表

写真分野

- ・「鳥取県にゆかりのある写真家に関する継続的調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：セミナー、論文、展覧会

工芸・デザイン分野

- ・「鳥取県にゆかりのある現代の工芸家に関する継続的調査研究」
随時 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：企画展、セミナー、論文
- ・「手仕事の技術を生かした現代・国内外のデザインに関する調査研究」
随時 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：エッセイ、セミナー、論文
- ・「山陰の絁織りに関する技法および様式に関する調査研究」
令和7年度まで 担当：三浦 共同研究者：未定 成果発表形態：セミナー、論文、常設展示
- ・「鳥取県出身の工芸家・岡村吉右衛門のスケッチおよびノート類に関する調査研究」
令和7年度まで 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：セミナー、論文、常設展示

美術館教育分野

- ・「『来館者の学び』に関する理論と方法に関する調査研究」
随時 担当：佐藤 共同研究者：デジタル鑑賞教育研究会
成果発表形態：展示、ワークショップ、口頭発表
- ・「地域に根ざしたアートコミュニケーション事業の在り方に関する調査研究」
随時 担当：山本 共同研究者：なし 成果発表形態：ワークショップ、広報物の発行
- ・「美術館の教育普及機能の有効化・充実に向けた、館内外における実践的な調査研究」
随時 担当：外村 共同研究者：未定
成果発表形態：教育普及事業、アウトリーチプログラム、教員研修、ワークショップ等

鳥取県ミュージアム・ネットワーク関連

令和6年度 鳥取県ミュージアム・ネットワーク研修会

秦博志さん（HATA Studio代表）を講師として迎え、演題「文化財防災マニュアルを読み込む」としてマニュアル作成に携わった経験を踏まえマニュアルの意義と災害現場での実践について解説いただいた。秦氏が作成に携わった「文化財防災ウィール」を参加者が輪読しながら、防災対策について意見交換も行いました。

1 期日 令和6年11月15日

2 場所 キナルなんぶ 研修室

3 日程

(1) 開会

(2) 研修

演題 「文化財防災マニュアルを読み込む」

講師 秦博志さん（HATA Studio代表）

(3) 情報交換

(4) 閉会

4 参加人数 22名

令和6年度 資料収集等の状況について

1 博物館資料保有状況

部 門	前年度末 保有点数	本年度中増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,633							8,633
動 物*	9,320							9,320
昆 虫*	27,277							27,277
植 物	57,036							57,036
歴 史	59,666		1,176					60,842
近現代	8,413							8,413
民 俗	4,356		1					4,357
考 古	8,292							8,292
美 術	10,619							10,619
合 計	193,612	0	1,177	0	0	0	0	194,789

2 購入(製作)資料

なし

3 寄贈資料

部 門	資 料 名
歴 史	旧鳥取藩士安達清一郎関係資料1,175点、参勤交代図屏風(六曲一双)1件
民 俗	看板 定有堂書店1点

4 採集・拾得等資料

なし

5 保管換資料

なし

6 分類換資料

なし